

第11回市原市ちびっ子サッカー大会(2年生・1年生大会)競技規則細則

1. 競技規則

- (1) 時間
 ・7-2-7分(1年生)及び8-2-8分(2年生)とする。
- (2) 人数
 ・ゴールキーパー1名、フィールドプレイヤー5名の6人制で行う。
 ・5名に満たないチームは不戦敗とする。
- (3) 交代
 ・自由な交代とする。
 ・インプレー、アウトオブプレイに関わらず、交代ゾーンからいつでも交代できる。
 但し、交代選手がピッチを出てから交代要員の選手が入ること。
 違反した場合は以下①から④の手順で対処する。
 ①プレーを停止する。
 ②交代する選手をピッチの外に出す。
 ③交代要員に警告を与える。
 ④試合を停止した時にボールのあった場所から、相手チームの間接フリーキックで再開する。
- (4) 用具
 ・ボールは3号球、試合球は主催者側で用意します。
 ・キーパーはフィールドプレイヤーと違う色のユニフォームを着用する。(ビブス可)
 ・**スパイクは禁止**する。(アップシューズ等)
- (5) キックオフ
 ・キックオフからの直接のゴールインは認めない。相手キーパー스로再開する。
- (6) フリーキック(直接及び間接)
 ・相手チームは5m以上離れなければならない。
 ・ペナルティーエリア内の間接フリーキックは、最も近いペナルティーエリアのライン上から行う。
- (7) キックイン
 ・ボールがタッチラインを割った場合は、相手チームのキックインで再開する。
 ・キックインはタッチライン上にボールを置いてキックする。(助走しないで行ける)
 ・キックインからの直接のゴールインは認めない。ゴールインした場合は相手チームのキーパー스로により再開する。
- (8) ゴールキック(キーパー스로)
 ・攻撃側がゴールラインからボールを出した場合は、キーパーがペナルティーエリア内からボールを手で投げて再開する。
 ・ゴールキーパーからのスローインは直接ゴールインすることを可とする。
- (9) ゴールキーパー
 ・ゴールキーパーが手で受けたボールは、手で投げることを(パントキックの禁止)。
 違反した場合はやり直させる。
 ・手で投げたボールは、直接ハーフウェイラインを越えても可。
 ・味方からのバックパスやキックインを直接手で扱えない。
 違反した場合は相手側にその地点からの間接フリーキックを与える。

- (10) コーナーキック
 ・コーナーキックは、コーナーアーク内にボールを置いて行う。
 ・その際、相手チーム選手は5m以上離れなければならない。
- (11) 順位決定
 ・リーグ戦は勝3点、分1点、負0点の勝点による。勝点が同一の場合①得失点差
 ②総得点③当該チームの対戦成績。決しない場合はPK戦。トーナメントの引分もPK戦で決定する。PK戦は3人によるPK戦方式。
- (12) その他
 ・オフサイドは適用しない。
 ・スライディングタックルは禁止とし、違反した場合は相手チームの直接フリーキックで再開する。
 ・審判は原則として1名で行う。(但し、決勝トーナメントは2人制)プレーを妨げないようできるだけタッチライン付近を走ること。
 ・スネ当てを必ず着用する。
 ・その他反則と不正行為は2016/2017年8人制の日本サッカー協会競技規則に準ずる。

2. 競技場

